

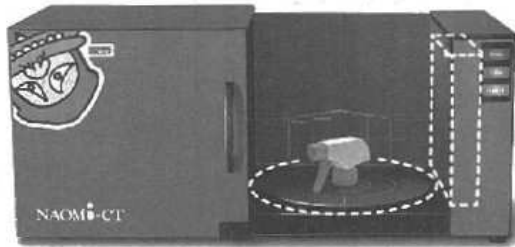
# 90万円のX線装置投入

## 2Dで製品内部観察

### アールエフ 低価格で市場開拓

【長野】アールエフ（長野市、丸山次郎社長 026・225・7733）は、2次元（2D）画像で工業製品の内部を検査する廉価なX線撮影装置を製品化した。後付けでX線CT（コンピュータ断層撮影装置）にパライジョンアップできるのが特徴で、価格は90万円（消費税抜き）。非破壊で製品内部を観察するX線装置を身近に感じてもらってもっとも、新市場の開拓を目指す。

3次元（3D）画像・5ミリX高さ297・5ミリ。検査の対象物  
は幅250ミリX奥行30  
250ミリX高さ230  
ミリまで。  
100ミリ（マイク  
ロは100万分の1）  
単位で対象物内部を計



測できる。X線作業主  
任者の資格は不要。タ  
（価格は190万円）  
を後付けすれば、  
X線CTとして使  
える。

製品内部を非破  
壊で安価に検査す  
る需要は増えつつ  
ある。ただ、同社  
が想定していない  
分野でもX線撮影

アールエフの工業  
用2次元X線撮影  
装置（破線で囲っ  
た部分は後付けの  
ターミネータと  
パネル）

装置の認知度を高め、  
新市場を開拓するに  
は、さらに買い求めや  
すい2Dタイプが必要  
と判断した。X線CT  
の供給拡大にもつなげ  
る。

また、産業用として  
2万円（消費税抜き）  
ワイヤレスで使える近  
接カメラも製品化。ラ  
イトが付いた先端部分  
にフレキシブルケーブ  
ルを採用したことで検  
査対象物の隅々までチ  
ェックできる。価格は

アールエフは201  
2年に歯科用のCTを  
開発して発売。16年に  
は技術を応用した3D  
の工業用X線CTを2  
80万円で製品化し、  
車、食品など業種向け  
に納入実績がある。

日刊  
THE NIKKAN  
工業  
KOGYO SHIMBUN  
新聞  
8月1日水曜日  
2018年(平成30年)

2018年8月1日付  
10面に掲載